

ウオダス 漁海況速報 No.1406

発行日 平成 17 年 4 月 11 日 <http://www.applenet.jp/aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2731 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字赤石字大和田39-5

4月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
3	4	5	⑥	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	⑳	22	23
24	25	⑳	27	28	29	30

- 津軽海峡流量調査結果（3月）
津軽海峡西口流量は多め
- 日本海沿岸定線観測結果（4月）
対馬暖流域は沿岸寄り

下前 (4月6~10日)

ヤリイカ	棒受網	23隻	2,931kg
(2,967kg)	一本釣	9隻	36kg
ウスメバル	一本釣	6隻	119kg

鰺ヶ沢 (4月6~10日)

ヤリイカ	底建網	26隻	463kg
マダラ	底建網	4隻	15kg
サクラマス	底建網	7隻	76kg
タイ	底建網	2隻	9kg
(12 kg)	底曳網	1隻	3kg

大戸瀬 (4月6~10日)

ヤリイカ	定置網	26隻	68kg
(574 kg)	底建網	104隻	506kg
タイ	底建網	2隻	0.6kg
サクラマス	定置網	28隻	859kg
(998 kg)	底建網	11隻	139kg
ブリ	定置網	6隻	15kg
マダラ	定置網	6隻	26kg
(84 kg)	底建網	8隻	58kg
サバ	定置網	2隻	1kg
(3 kg)	底建網	2隻	2kg

深浦 (4月6~10日)

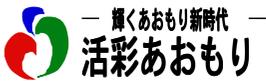
ヤリイカ	底建網	3隻	60kg
(117 kg)	底曳網	8隻	57kg
ウスメバル	一本釣	9隻	200kg
(212 kg)	刺網	3隻	12kg
サクラマス	定置網	2隻	70kg
フクラギ	定置網	2隻	28kg

三厩 (4月1~5日)

ヤリイカ	定置網	250隻	2,560kg
アブラツノザメ	延縄	28隻	20,376kg
ウスメバル	一本釣	14隻	311kg

(4月6~10日)

ヤリイカ	定置網	132隻	805kg
アブラツノザメ	延縄	8隻	4,703kg
ウスメバル	一本釣	6隻	75kg



沢辺 (4月6~10日)

ヤリイカ	定置網	4隻	174kg
(239 kg)	底建網	8隻	65kg
ウスメバル	底建網	1隻	3kg
(36 kg)	刺網	5隻	33kg
マダラ	定置網	1隻	7kg
(622 kg)	底建網	5隻	615kg
サクラマス	定置網	4隻	1,129kg
タイ	定置網	1隻	1kg
(3 kg)	底建網	2隻	2kg

平舘 (4月6~10日)

定置網	69隻
サクラマス	11kg
ヤリイカ	5,054kg

佐井 (4月1~5日)

ヤリイカ	定置網	30隻	125kg
(141 kg)	底建網	3隻	7kg
	一本釣	3隻	9kg
アブラツノザメ	刺網	4隻	357kg

八戸 (4月6~10日)

サケ他	定置網	2隻	397kg
-----	-----	----	-------

小泊 (4月6~10日)

(取りまとめ中)

大畑 (3月26日~4月10日)

(取りまとめ中)

尻労 (4月6~10日)

(取りまとめ中)

白糠 (3月26日~4月10日)

(取りまとめ中)

主要魚種の動き

○ヤリイカ (全漁法・4月6~10日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計 (8月~)	去年同期比
下前	2,967kg	49%	18,332kg	144%
鰺ヶ沢	463kg	9%	248,121kg	172%
大戸瀬	574kg	8%	275,211kg	173%
深浦	117kg	18%	13,914kg	65%
(陸奥湾)				
平舘	5,054kg	126%	39,920kg	53%

○サクラマス (全漁法・4月6~10日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計 (12月~)	去年同期比
大戸瀬	998kg	73%	15,676kg	79%
深浦	70kg	31%	5,339kg	82%
(津軽海峡)				
三厩	0kg	-	221kg	52%
佐井	0kg	-	3,775kg	168%

佐井は4/5まで

○アブラツノザメ (全漁法・4月6~10日)

(津軽海峡)	今回	前回比	漁期累計 (9月~)	去年同期比
三厩	4,703kg	23%	135,148kg	65%
鰺ヶ沢	0kg	-	14,592kg	117%

資源管理は、船から浜から
市場から3kg未満のミズダ
コは放流しましょう！
青森県

~大切な命を守るための3つの基本~
 海上に浮くこと (救命胴衣の着用)
 連絡を待つこと (無線、携帯電話の活用)
 救助の要請をすること (118番の活用)

沿岸各地の水温

(4月6日~10日)

日本海 7 ~ 8 °C台
陸奥湾 4 ~ 7 °C台

津軽海峡 7 ~ 8 °C台
太平洋 8 °C台

今期は昇温した地域ががみられ、平均前回差は+0.8度となりました。

昨年と比べると日本海で-0.8度、津軽海峡で-1.0度、陸奥湾で-1.0度、太平洋で-0.5度となり、平均昨年差は-1.0度です。

平年と比べると日本海側が平年並み、陸奥湾内、津軽海峡がかなり低め、太平洋がやや高めとなり、平均平年差は-1.2度で、やや低めで推移しています。

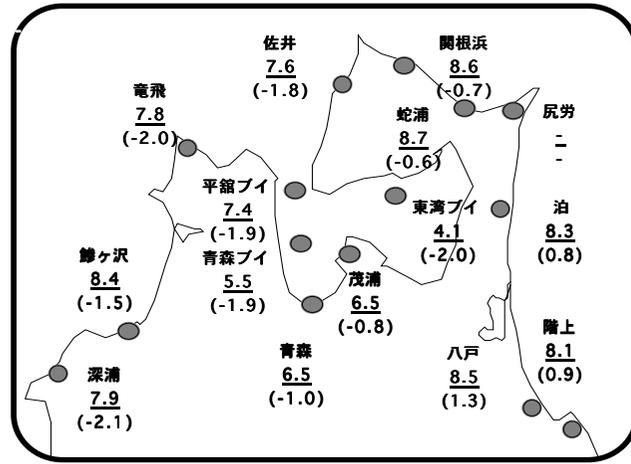


図 定地水温 (4月6~10日)
平均値 (平年差) ブイ1 m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	7.9	-2.1	-2.1	-0.5
鰐ヶ沢	8.4	-1.5	-0.9	+1.0
竜飛	7.8	-2.0	-1.8	+0.3
佐井	7.6	-1.8	-2.1	+0.1
青森	6.5	-1.0	+0.0	+0.8
蛇浦	8.7	-0.6	-0.8	+0.6
関根浜	8.6	-0.7	-0.4	+0.0
尻労	-	-	-	-
泊	8.3	+0.8	+0.6	+0.2
八戸	8.5	+1.3	-1.0	+2.1
階上	8.1	+0.9	-1.2	+0.2
茂浦	6.5	-0.8	-0.5	+1.6
平館ブイ	7.4	-1.9	-1.8	+1.8
青森ブイ	5.5	-1.9	-0.5	-0.1
東湾ブイ	4.1	-2.0	-1.0	+0.7
平均	6.3	-1.2	-1.0	+0.8

太平洋の海況 (4月7日~10日)

概況; 沿岸水温は7~8°C台。

○太平洋沿岸域の表面水温 7~8°C台で、前回とほぼ同じ水温となっています。昨年同期と比較するとわずかに低い水温となっています。

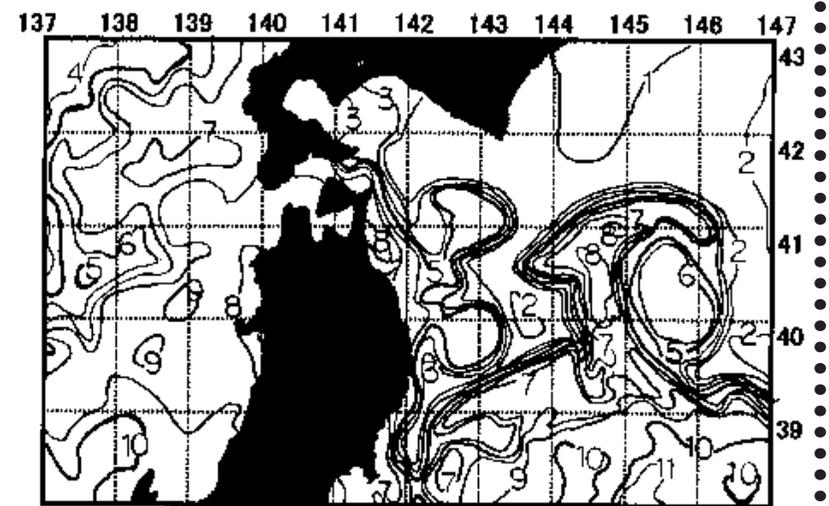
○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 5°C等温線で見ると東経141度40分付近までで、張り出しは前回よりやや弱くなっています。

○親潮系冷水の南下 5°C等温線で見ると、北緯38度20分付近までで、張り出しは前回よりや強くなっています。

日本海の水況 (4月7日~10日)

概況; 沿岸水温は8°C台。

○日本海沿岸域の表面水温 8°C台で、前回とほぼ同じ水温となっています。昨年同期と比較すると1~2度低い水温です。



資料: (社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第4号 4月11日

◎試験船情報

●試験船開運丸は今週、太平洋のイカナゴ稚仔調査を行い、引き続き4月27日までの予定で日本海のいか類漁場調査を行う予定です。

●試験船青鵬丸は今週、陸奥湾においてイカナゴ稚仔調査を行います。

●試験船東奥丸は3月15~16日に津軽海峡西口で流量調査を行いました。調査は試験船で西口定線を24時間50分をかけて、4往復し、8横断の流量を測定します。下図1に流量の変化を示しました。各横断の流量は、0.12Sv.~3.12Sv.となり、平均1.68Sv.となりました。春季の流量調査としては多めでした。

また、下図2に4月4~5日の日本海沿岸定線観測結果から船作崎線の水温断面図を示しました。昨年同期は、表層に沿岸から東経139度付近まで10°C以上の水が分布していましたが、今年は、沿岸寄りが9°C台となり、対馬暖流域は沿岸に分布していましたが、東奥丸は今週から4月20日の予定で、日本海のいか類漁場調査を行う予定です。

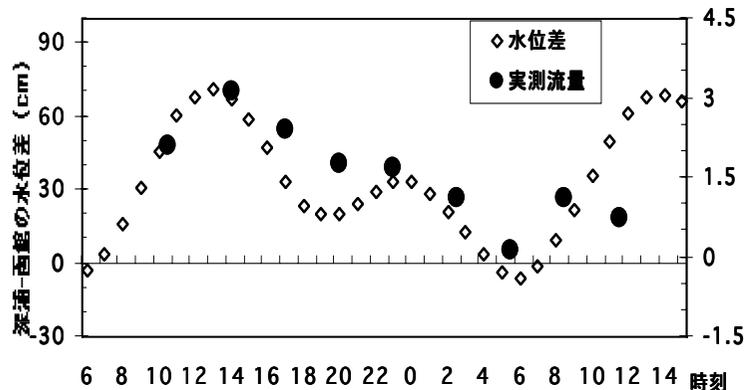


図1 津軽海峡西口定線流量の変化

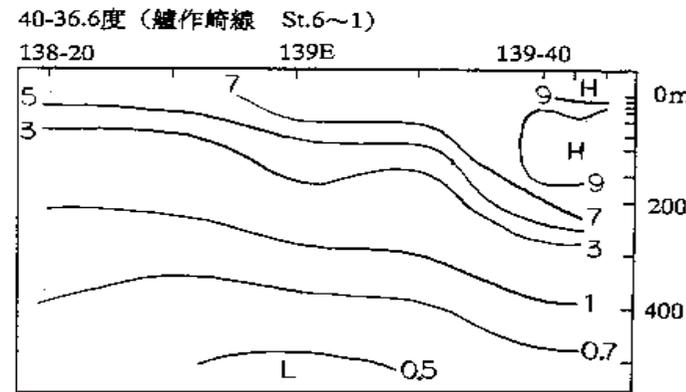


図2 船作崎線の水温断面図

◆ユウレイイカの捕獲

4月5日に風合瀬の底建網でユウレイイカが捕獲されました。外套長は41cm、体重は505gでした。ユウレイイカはふぞろいな太さの足と丸い耳が特徴で、目の周りや細長い触腕に発光器を持っています。主に相模湾以南の太平洋に分布し、フィリピンやインドネシアも分布域となっています。ウオダスではこれまでに1度だけ報告例があり、尻労で2003年4月に捕獲され、外套長30cmでした。